

会 議 名	第1回港区防災学校プログラム企画・運営支援業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	平成30年12月13日(木) 15時30分から16時まで
開 催 場 所	区役所5階 防災危機管理室会議室
委 員 員	出席者 5名 防災危機管理室長 長谷川 浩義(委員長) 防災課長 白井 隆司(副委員長) 危機管理・生活安全担当課長 滑川 寛之(委員) 高輪地区総合支所協働推進課長 鈴木 雅紀(委員) 芝浦港南地区総合支所協働推進課長 大浦 昇(委員)
事 務 局	防災課地域防災支援係
会 議 次 第	1 開会 2 議題 (1) 委員長の選任について (2) 選考委員会選考スケジュール(案)について (3) 事業候補者選考方針(案)について (4) 事業候補者募集要項(案)について (5) 採点基準表(案)について 3 その他 4 閉会
配 付 資 料	【席上配付】 次第 資料1 港区防災学校プログラム企画・運営支援業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 資料2 「港区防災学校プログラム企画・運営支援業務委託」事業候補者選考委員会委員名簿 資料3 選考委員会選考スケジュール(案) 資料4 「港区防災学校プログラム企画・運営支援業務委託」事業候補者選考方針(案) 資料5 「港区防災学校プログラム企画・運営支援業務委託」事業候補者募集要項(案) 5-2 【様式1】質問書 5-3 【様式2】参加表明書 5-4 【様式3】共同事業体構成書 5-5 【様式3-2】共同事業体構成書及び共同事業体協定書兼委任状 5-6 【様式3-3】委任状 5-7 【様式4】事業者概要 5-8 【様式5】類似事業の実務実績 5-9 【様式6】業務従事予定者の経歴及び専任制



	事項なので一括審議とさせていただきます。事務局から説明をお願いします。
事務局	(事務局が、資料4～7に基づき説明する。)
A委員	意見・質問はございますか。
D委員	前回のプロポーザルの時の応募は何社からあったのでしょうか。
事務局	2社です。
A委員	事業規模の385万円と、資料4に記載のある【様式8】企画提案書の「事業規模の2割程度」という記載の詳細について、事務局から説明をお願いします。
事務局	企画提案書【1】から【6】については、仕様書に記載のある内容です。【7】独自提案については、仕様書ではなく募集要項に記載してあるものです。【1】から【6】までの事業については、385万円を想定の金額として見積りを出してもらい、【7】については、事業規模385万円の2割程度を目途として見積りを出してもらうことにしています。
A委員	必ず実施すると考えている【1】から【6】の385万円は、予算の内報によって変わる可能性があります。その場合は募集要項を修正します。 独自事業については、【1】から【6】までの事業を縮小してでもやる価値があるのであれば、予算の範囲内で他の事業を調整する等の対応について、事業者と協議し、より効果的な事業を実施していくという考え方です。
D委員	過去に独自提案とその実施はあったのですか。
事務局	前回のプロポーザルでは、提案はしていただきましたが、実施はしていません。仕様書どおりの内容で契約しました。
D委員	独自提案の事業を実施したい場合、金額と内容を調整したうえで実施するということですか。
A委員	そのとおりです。 事業規模を2割程度としているのは、予算の中で調整可能な範囲ということで設定しています。2割が順当かは議論の余地がありますが、1割だと少ない印象を受けます。
D委員	事業規模の2割程度とするより、2割を上限とする方が良いのではないのでしょうか。
事務局	そのように修正します。

E委員	防災関連施設見学ツアーの移動手段はどうするのでしょうか。
事務局	今まではバスを使用していました。今回の仕様にはバスの価額は含まれておりません。
E委員	仕様書に記載のある履行場所については、会議室でいいのでしょうか。
事務局	「会議室他」という記載に、防災施設見学ツアーの場所も含んでいます。
E委員	仕様書に記載のある、履行期間について、西暦になっているため元号を記載してください。
事務局	修正します。
D委員	契約は4月に入ってからということであれば、事業者の責務の欄に、人権の尊重に係る条項を記載した方が良いのではないのでしょうか。
事務局	みなとタバコルールの遵守に係る条項も含め、仕様書に反映させます。
C委員	独自提案の採点について、提案してこない場合はどうなるのでしょうか。
事務局	提案は必須であるため、提案のあるなしで点数に差がつくことはありません。
C委員	資料7-1独自提案の採点の欄に記載のある、「見積価額は妥当か」という記載ですが、2割を上限として安ければいいのでしょうか。どういう考え方なのでしょうか。
A委員	内容と価格が見合ったものであるかという視点で、適正な価格になっているかも含めて、総合評価として評価します。
C委員	内容と価格の妥当性を判断するのは難しいのではないのでしょうか。
A委員	自由提案のため、金額の評価は難しいのは仕方がないと思います。 応募が1者だった場合は、順当な金額かどうかを常識的な範囲で評価することになります。
C委員	わかりました。
E委員	資料の差し替えは認めるのでしょうか。
事務局	認めないことにしています。 しかし提出期限までであれば、認めてもいいこととします。

A委員	二次審査のプレゼンにおける資料については決めているのでしょうか。
事務局	スクリーンに投影する場合は、パワーポイントの資料は用意してもらいます。
A委員	投影する場合はパワーポイントの資料があると考えられるので問題ないですが、紙ベースで資料を提出してもらう場合は、制限を設けた方がいいと思います。 A3表裏1枚くらい。
A委員	プレゼンの時間については決まっているのでしょうか。
事務局	説明15分、質疑15分としています。
A委員	順当と考えていいのでしょうか。
	(異議なし)
A委員	他にご意見等ございますでしょうか。
	(意見なし)
A委員	最終確認については会長一任ということによろしいですか。
	(異議なし)
A委員	本日出された意見を踏まえ、公募開始に向けて作業を進めます。 公募前に確定資料を委員に送付するということがいいですか。
事務局	はい。
事務局	<b>3 その他</b> 事務連絡及びスケジュールの確認
A委員	<b>4 閉会</b> 本日の委員会は以上をもって閉会します。